

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 特 許 公 報 (B2)

(11) 特許番号

特許第4348293号
(P4348293)

(45) 発行日 平成21年10月21日 (2009. 10. 21)

(24) 登録日 平成21年7月24日 (2009. 7. 24)

(51) Int. Cl.	F I
A 4 7 K 5/12 (2006. 01)	A 4 7 K 5/12 B
A 4 7 K 5/122 (2006. 01)	A 4 7 K 5/122
B 6 5 D 25/20 (2006. 01)	B 6 5 D 25/20 V
B 6 5 D 35/08 (2006. 01)	B 6 5 D 35/08
B 6 5 D 83/14 (2006. 01)	B 6 5 D 83/14 F
請求項の数 12 (全 11 頁) 最終頁に続く	

(21) 出願番号	特願2004-526779 (P2004-526779)	(73) 特許権者	590003065
(86) (22) 出願日	平成15年7月24日 (2003. 7. 24)		ユニリーバー・ナームローゼ・ベンノート
(65) 公表番号	特表2005-534435 (P2005-534435A)		シヤープ
(43) 公表日	平成17年11月17日 (2005. 11. 17)		オランダ国、3 O 1 3・エイエル・ロッテ
(86) 国際出願番号	PCT/EP2003/008169		ルダム、ヴェーナ 4 5 5
(87) 国際公開番号	W02004/014208	(74) 代理人	100062007
(87) 国際公開日	平成16年2月19日 (2004. 2. 19)		弁理士 川口 義雄
審査請求日	平成18年5月24日 (2006. 5. 24)	(74) 代理人	100114188
(31) 優先権主張番号	10/213, 227		弁理士 小野 誠
(32) 優先日	平成14年8月6日 (2002. 8. 6)	(74) 代理人	100103920
(33) 優先権主張国	米国 (US)		弁理士 大崎 勝真
		(74) 代理人	100124855
			弁理士 坪倉 道明
		最終頁に続く	

(54) 【発明の名称】 ストレッチリリース接着剤を使用する壁装着式パーソナルケア製品

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ストレッチリリース接着剤によって台所、流し台、または浴室の鉛直方向表面上に、上下逆さまの方向で接着する容器であって、ストレッチリリース接着剤が、水および湿気に対して耐性があり、または実質上耐性があり、容器が、

a . 1 つまたは複数の側部表面、端部表面、およびオリフィスを備える表面と、

b . オリフィスを覆うセルフシーリングバルブと、

c . 外的腐食に対して耐性のある、または実質上耐性のある構造または被覆とを備え、

容器が、力を印加する人の手の動作によって分与され、前記力の主成分が、鉛直方向表面に対して垂直にまたはほぼ垂直に作用し、ストレッチリリース接着剤が、積層の一部分が容器の壁面に恒久的に接合される積層である容器。

【請求項 2】

ストレッチリリース接着剤が、約 1 5 分から約 1 0 0 0 0 分の間、一定の水流の条件の下で容器の重量を支持することができる、請求項 1 に記載の容器。

【請求項 3】

ストレッチリリース接着剤が、約 6 0 分から約 1 0 0 0 0 分の間、一定の水流の条件の下で容器の重量を支持することができる、請求項 1 または請求項 2 に記載の容器。

【請求項 4】

ストレッチリリース接着剤が、約 1 0 0 0 分から約 1 0 0 0 0 分の間、一定の水流の条件の下で容器の重量を支持することができる、請求項 1 から 3 のいずれかに一項に記載の

10

20

容器。

【請求項 5】

側壁の外部表面が凸型であり、ストレッチリリース接着テープが、3 mm から 15 mm の間の厚さを有する、請求項 1 から 4 のいずれか一項に記載の容器。

【請求項 6】

容器の側壁が変形可能である、請求項 1 から 5 のいずれか一項に記載の容器。

【請求項 7】

セルフシーリングバルブが、出口導管に取り付けられ、該出口導管を通して容器の内容物が通過しなければならず、出口導管の方向が鉛直方向表面に対して傾斜されている、請求項 1 から 6 のいずれか一項に記載の容器。

10

【請求項 8】

セルフシーリングバルブが、分与される製品の静止層によって閉鎖される、請求項 1 から 7 のいずれか一項に記載の容器。

【請求項 9】

液化された推進または圧縮気体を含む加圧された容器である、請求項 1 から 8 のいずれか一項に記載の容器。

【請求項 10】

ストレッチリリース接着剤が、基板上に配置され、基板が、人の手によってアクセス可能であり、ストレッチリリース接着剤を剥離するように手によって引っ張られることができるタブを有する、請求項 1 から 9 のいずれか一項に記載の容器。

20

【請求項 11】

ストレッチリリース接着剤が、基板上に配置され、基板が、鉛直方向表面から容器を物理的に取り外す際に露出されるタブを有し、その際、鉛直方向表面からストレッチリリース接着剤を剥離するように、タブが引引っ張られることができる、請求項 1 から 10 のいずれか一項に記載の容器。

【請求項 12】

請求項 1 から 11 のいずれか一項による容器のセルフシーリングバルブを作動することを含む、製品を分与するための方法。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

30

【0001】

本発明は、液体、固体、エアロゾル、スラリー、ペースト、分離可能な物品などを保管するための容器に関する。容器は、その内容物を分与することにも使用される。

【0002】

本発明の容器は、シャンプー、ヘアコンディショナー、液体洗剤、洗濯洗剤、および多数のその他の内容物を、保管および分与するために使用されることができる。容器は、必要とされないときに内容物を保管し、必要とされるときに内容物を分与するように構成されている。

【背景技術】

【0003】

40

従来型の保管および分与容器は、ガラス製、金属製、またはプラスチック製のいずれでも、一般に棚または床の上に直立して保管され、容器の底部表面が棚などの上で容器を支持している。したがって、このような従来型の容器は、その保管のために使用可能な水平方向空間または領域を必要とするが、この領域は、使用可能でないこと、または限定された程度でしか使用可能でないことがよくある。したがって、家庭、事務所、会社などのいずれでも、使用可能な空間を、保管を必要とする容器の最適な配置のために思慮深く割当てなければならない。また、最も便利な位置に、使用可能な水平方向棚または支持部がないということがしばしば生じる。

【0004】

本発明は、多種多様な使用が可能であり、多数のサイズおよび形状が使用可能であり、

50

壁、シャワー室、棚扉、クロゼット扉などによって提供される使用可能な鉛直方向空間を使用する容器を提供することによって、水平方向支持表面が制限されている、またはないという問題点に対処する。容器を保管するための水平方向支持表面の必要性はしたがって除去され、一方それと同時に、容器の内容物の容易かつ迅速な分与が可能である。

【 0 0 0 5 】

米国特許第 4 , 7 9 3 , 5 1 7 号は、液体ソープ、シャンプー、およびコンディショニングリンスをそれぞれ保管するための 3 つの区画を有する、弾力性のボトルまたは容器を開示している。通常閉鎖されている、開放可能なバルブが、各区画の出口を制御する。ソープバルブが、ボトルに固定されているスポンジの中央へ開く。ボトルは、シャンプーおよびコンディショニングリンスを分与するために、シャワー壁面上の真空カップ上で支持されることができる。いずれかのバルブを開放し、ボトルを手で押圧すると、液体が対応する区画から分与される。

10

【 0 0 0 6 】

米国特許第 4 , 4 7 0 , 5 2 3 号は、その容器が可撓性のプラスチック材料で形成され、平坦な後壁と、底部に隣接する前壁から突き出している外部にねじ山の付いたニップルとを備える、液体ソープディスペンサを開示している。ニップルは、折り畳まれたときニップルを密封し、広げられたときに、前壁を押圧するとそこから液体ソープが排出されることができる排出口を形成している、枢支された差し口を組み込んだニップルに螺合されたキャップを有する。後壁には、パッドが固定され、パッドの外部表面が感圧粘着剤の層をその上に有する。その面積がパッドの面積よりも大きい底部シートも設けられ、シートは、その下部表面上に感圧粘着剤被覆を有する。このことは、選択された壁部位にシートを接着して、適合させて、その後、ディスペンサを壁面に固着させるために、容器パッドをシートの中央領域に押し付けることを可能にする。

20

【 0 0 0 7 】

米国特許第 5 , 0 2 2 , 6 2 5 号は、継続的に再使用することが可能な保管容器を開示している。容器は、家庭、事務所、会社などで実質上いかなる鉛直方向表面上でも手軽にかつ容易に保管されることができる。容器は、その後部表面に形成された後向きの凹型の切欠きまたはくぼみを有する。この切欠きまたはくぼみは、圧力嵌めの方式で、壁または扉などの鉛直方向表面に固定された大きな球型または凸型のノブを受けるために使用される。このことによって、容器は、後で容器の内容物を分与することが必要であるときにそこから取り外されるように、このような鉛直方向表面に取外し可能に装着されることができる。

30

【 0 0 0 8 】

米国特許第 4 , 0 2 4 , 3 1 2 号は、それを縦に引き伸ばすことによって容易に取外し可能な感圧粘着剤を開示している。W O 9 2 / 1 1 3 3 2 は、光重合型アクリル感圧粘着剤の層を少なくとも 1 つの表面上で支持している、極めて伸張性のある裏層を備える高性能の取外し可能な感圧粘着テープを開示している。W O 9 2 / 1 1 3 3 3 は、極めて伸張性があるが、実質上弾力性のない裏層と、感圧粘着剤の層とを備える、取外し可能な接着テープをその 1 つの主表面上で支持している基板を備える表面に接着するのに適した物品を開示している。

40

【 0 0 0 9 】

米国特許第 6 , 4 0 6 , 7 8 1 号は、底部部材と、ストレッチリリース接着 (s t r e t c h r e l e a s e a d h e s i v e) テープストリップを備える、壁などの支持表面上に取外し可能に接着接合するように構成された接着剤を開示している。接着テープストリップは、取外し過程に底部部材が接着ストリップから剥離されることが可能にし、一方、接着ストリップは支持表面に接着されたままであり、したがって不慮の急激な動きの発生を低減させる、非接着性の端部部分を有する順次剥離タイプの接着ストリップである。取外し過程の底部部材と接着ストリップとの間の相対運動を防止し、したがって底部部材のうまく制御された順次剥離の可能性を増加させるために、底部部材は、接着ストリップが取外し中に引き伸ばされるにつれて、底部部材が移動した場合に接着ストリッ

50

プと当接するように構成されたスタビライザを備える。スタビライザは、一般に、剛性の突起、または接着ストリップの端部に隣接する底部部材の端部から外向きに延びている圧縮可能な止め部材であってもよい。

【 0 0 1 0 】

米国特許第 6 , 0 0 1 , 4 7 1 号は、物体の別の表面との装着部または接合部を特に備える、従来の用途で使用するための両面の引き伸ばし可能な接着テープを開示している。改良点は、一方の接着表面が他方の表面の前に剥離するように、両方の表面の分離のタイミングを制御することが可能であることにある。所望の効果に応じて、より早く剥離する側を、物体側か表面側のいずれかにすることができる。

【 発明の開示 】

10

【 発明が解決しようとする課題 】

【 0 0 1 1 】

本発明は、プラスチック製の裏打ち材料および / または伸縮性の裏打ち材料の使用を含む、すべての引き伸ばし可能なテープ構造に適用可能であり、実質上の接着テープの戻り (s n a p - b a c k) または物体の飛出しの危険性なしに、このような物体を取り外すことが可能である。

【 0 0 1 2 】

上述の利点は、引き伸ばし可能な裏層を有し、プラスチック性または弾性であり、一方の接着表面上に低接着性または非接着性の部分を有する、両面接着テープを使用して達成することができる。したがって、テープの他方の側の対応するより大きな接着性の接着部分は、引き伸ばし取外しの間、表面により強く接着したままである。より強く接着されていない一方の接着表面の部分は、その表面から完全に剥離されることができる。非接着性の部分は、接着剤がない、または非接着性を示す接着層でありえる。低接着性の部分は、低接着性の材料、すなわちより弱い接着剤を備える、または処理または被覆によってより低い接着性を示すことができる。

20

【 0 0 1 3 】

W O 2 0 / 0 1 0 5 0 7 は、それに接着され、その構造内で再利用可能に分離可能であり、物品の分離およびそれに続く再接続を可能にする、1つまたは複数の物体から取外し可能であるストレッチリリース接着テープ構造を示している。このテープは、しっくい、コンクリート、ガラス、金属、またはプラスチック上への装着適用、および壁掛け、ディスペンサ、ワイヤクリップ、手提げ、蓋構造、取外し可能なラベル、おむつなどの適用に適していると特定される。

30

【 課題を解決するための手段 】

【 0 0 1 4 】

本発明は、鉛直方向表面に、上下逆さまの方向で接着される容器に関する。これは、たとえば壁などのいかなる鉛直方向表面であってもよい。これは、台所、流し台または浴室の壁であってもよい。容器はストレッチリリース接着剤によって接着され、ストレッチリリース接着剤は、水および湿気に対して耐性がある、または実質上耐性がある。

【 0 0 1 5 】

本発明の実施形態は、

40

- a) 1つまたは複数の側部表面、端部表面、およびオリフィスを備える表面と、
 - b) オリフィスを覆うセルフシーリングバルブと、
 - c) 外的腐食に対して耐性のある、または実質上耐性のある構造または被覆とを備え、
- 容器が、力を印加する手によって分与され、力の主成分が、鉛直方向表面に対して垂直にまたはほぼ垂直に作用する容器を備える。

【 0 0 1 6 】

本明細書で使用するように、液体、固体、エアロゾル、スラリー、ペースト、および分離可能な物品は、全て流動可能かつ分与可能な物品であると一般に称される。

【 0 0 1 7 】

ストレッチリリース接着テープは、2つの対向する表面の間の強力な接合を形成するた

50

めに使用されてもよいが、接合平面の方向に本質的にテープを伸張させるタブを引っ張ることによって、その再分離を可能にする。この動作は、基板または接着剤にいかなる痕跡または損傷も残すことなく表面を分離する。それらが作製されている材料および方法は、たとえばWO 92/11332、DE 3331016、DE 4233872、DE 4222849、DE 3331016、WO 94/21157、およびWO 20/020124に記載されているように、当技術分野でよく知られている。このようなストレッチリリース接着剤の例は、3M Innovative Properties Companyによって「Command」接着剤の商標の下で、およびBeiersdorf AGによって「tesa Power Strips」として市販されている。好ましい分類は、その構造にアクリル、合成ゴム、またはブロックコポリマーベースの感圧粘着剤を使用するテープである。

10

【0018】

セルフシーリングバルブとは、製品、すなわち分与される物品の重量の下で、または印加された力を除去したときに、バルブ自体をシーリングするいかなるバルブのことを指す。このようなバルブの限定されないリストは、Seaquist Companyからすべて市販されているXT-90 Toggle、ST-70 Toggle、VX-80 Vertical、およびAR-70 Verticalなどの、Seaquist Perfect Dispensing valveを含む。別の適切なバルブは、Precision Valve Corp.によるSuper 90 Verticalである。別の適切なバルブは、Summit Co.によるS-63 Tilt Action valveである。他のバルブは、Coster Co.からすべて市販されているK Vertical、KR Vertical、T Tilt Action、およびTR Tilt Actionを含む。Lindal GroupによるJetstar LI 98-Verticalも使用に適している。

20

【0019】

非エアロゾルバルブの例は、Seaquist ClosuresによるSimplisqueezeおよびSimpli Twistバルブである。

【0020】

上下逆さまに、ということは、装着されるときに、容器の出口オリフィスが、その重心によって定義されたその中点の下にある位置に配置されることを意味する。

30

【0021】

変形可能とは、感知可能かつ回復可能な形状の変化が、人間の手の直接的な接触によって容易に付与される力の印加を通して付与されることができることを意味する。

【0022】

外的腐食に対する実質上の耐性は、家庭用シャワーまたは洗濯ユニットで典型である、湿った環境で、その構造の構造体の劣化の局所的な領域を視覚で認知することなく6ヶ月間保管されることができることを意味する。当該分野でこの耐性を通常提供する材料の限定されない例は、熱硬化性を備えるプラスチック、熱可塑性プラスチック、ゴム、およびアルミニウムや、ステンレス鋼などのいくつかの鉄合金などの金属、およびそれらの組合せである。

40

【0023】

水および湿度に対する実質上の耐性は、構成要素が、水、または水蒸気で飽和した空気との直接接触の条件の下で、そのために意図された用途に特有である暴露時間の間、その最小の性能要求を達成することができることを意味している。本明細書で使用するように、これは、容器が鉛直方向表面から分離するのに必要とされる水への暴露時間を定量化するために、後の部分で説明される方法を使用して評価されることができる。

【0024】

シェアシンニングの現象は、レオロジーの分野の熟練者によってよく知られている。本明細書で使用するようなシェアシンニング指数は、20の（別段の指定がなければ）温度で、それぞれ 10^{-3} s^{-1} および 10^3 s^{-1} のずり速度で測定されるような、流体

50

の低いずり速度粘性と高いずり速度粘性との比である。

【 0 0 2 5 】

垂直にまたはほぼ垂直にということは、鉛直方向平面に対して、約 1 1 0 度から約 7 0 度で、またはより好ましくは約 9 0 度でということの意味している。鉛直方向表面に対して傾斜されるということは、角度の一方の側が下向きの方向を指している鉛直方向表面である鉛直方向表面から、約 1 0 度から約 4 0 度、より好ましくは約 3 0 度離れた傾斜角度を形成することを意味している。

【 0 0 2 6 】

鉛直方向に活動化されたバルブとは、製品を中に入れている容器内に直接的にまたはほぼ直接的にバルブシステムを押圧することによって、作動されるバルブを意味している。斜めに活動化されたバルブとは、製品を中に入れている容器の一方の側へバルブシステムを押圧することによって、作動されるバルブを意味している。

10

【 0 0 2 7 】

推進薬は、濃縮物を完全に溶解可能である、または一部溶解可能であるとき、濃縮物を完全に混和可能である、または一部混和可能であると言われる。

【 0 0 2 8 】

本明細書で使用されるように、積層とは、選択したときに分離可能であるように構成された 2 つ以上の層から成る構造を意味している。

【 0 0 2 9 】

本発明の容器は、当技術分野で知られている、または当技術分野で知られている材料と類似である材料から準備されることができる。

20

【 0 0 3 0 】

本発明の容器は、当技術分野で知られている、または当技術分野で知られている方法と類似である方法によって作製されることができる。

【 0 0 3 1 】

本発明は、ストレッチリリース接着剤によって台所、流し台または浴室の鉛直方向表面（壁またはその他の鉛直方向表面）に、上下逆さまの方向で接着され、ストレッチリリース接着剤が、水および湿気に対して耐性があるまたは実質上耐性がある容器に関する。

【 0 0 3 2 】

本発明の実施形態は、

30

- a) 1 つまたは複数の側部表面、端部表面、およびオリフィスを備える表面と、
- b) オリフィスを覆うセルフシーリングバルブと、
- c) 外的腐食に対して耐性のある、または実質上耐性のある構造または被覆とを備え、

容器が、力を印加する手によって分与され、力の主成分が、鉛直方向表面に対して垂直にまたはほぼ垂直に作用する容器を備える。

【 0 0 3 3 】

壁、シャワー室、棚扉、クロゼット扉などの鉛直方向表面に、容易に装着されることができる半自動的な分与パッケージの必要性がある。消費者は、通常水平方向の保管空間に置かれており、使用する場所に運んで使用前に上下逆さにし、その後分与されなければならない、従来型のボトルによってしばしば苛立たされる。本発明の容器は、それとは逆に、壁、シャワー室、棚扉、クロゼット扉などの鉛直方向表面に接着されることができ、1 回の手の操作を通して製品を分与するために直ちに使用可能である。

40

【 0 0 3 4 】

このことは、ストレッチリリース接着テープをボトルなどの容器の 1 つまたは複数の表面に取り付け、ストレッチリリース接着剤を介してボトルを壁、シャワー室、棚扉、クロゼット扉などに上下逆さまの方向に接着することによって達成される。セルフシーリングバルブが、容器の逆さにされた端部に取り付けられているため、容器は、シャンプー、ヘアコンディショナ、液体洗剤、洗濯洗剤、食品、または多数のその他の内容物を、消費者が材料を分与するまで、保管する働きをする。

【 0 0 3 5 】

50

パーソナルケア製品またはその他の材料のための、容器とストレッチリリース接着剤の組合せは、このような製品が、濡れたおよび乾いた環境の両方で使用され、消費者の選択したときに、使用される壁または鉛直方向表面に対する損傷なしで取り外されることを可能にする。極めて少量のこれらのストレッチリリース接着剤が、重い重量、および分与する際に使用者によって生じる追加の圧力を支持することは、予想されていなかった。極めて少量のこれらのストレッチリリース接着剤が、シャワー室または浴室などの通常の湿った濡れた条件で、重い重量を支持することもまた予想されていなかった。

【 0 0 3 6 】

また、たとえば、浴室の壁上にストレッチリリース接着剤によって取外し可能に装着されたエアロゾルパッケージの使用を通じてもたらされた使用者へ利便性は、容器の開発前には予想されていなかった。

10

【 0 0 3 7 】

本発明の別の実施形態では、容器は、金属またはプラスチックなどの非腐食性の材料製である。このことは、容器が、腐食することなく濡れたまたは湿った環境に配置されることを可能にする。

【 0 0 3 8 】

水および湿気に対する耐性を評価するための方法

記載した方法は、容器と接着ストリップのいかなる組合せにも適用可能であり、プロトコルは、家庭環境で実用的な価値がある本発明の実施形態を規定するように構成されている。この用途を支持して行われた実験は、広範囲の容器と接着剤の組合せを備えていた。これらは、寸法 2 0 m m × 2 0 m m × 1 m m のストレッチリリース接着テープによって支持された、ヘアシャンプー合成剤（質量 4 3 3 g、概寸法 2 2 0 m m × 8 0 m m × 4 5 m m）で満たされた高密度ポリエチレンボトルを含む。これはまた、寸法 1 0 m m × 4 0 m m × 1 m m のストレッチリリース接着テープによって支持された、ヘアコンディショニング合成剤（質量 2 4 0 g、直径 4 5 m m × 高さ 1 7 0 m m）で満たされた円筒形のペイントされたアルミニウムエアロゾル缶を含む。この方法の詳細は、以下の部分に説明されている。

20

【 0 0 3 9 】

滑らかなガラス板（表面粗度 $R_a < 0.05$ マイクロメートル）が、まずエタノール（190プルーフ）で清浄され、自然に乾燥される。両面ストレッチリリース接着剤が、必要の寸法に切断され、保護裏打ちストリップの一方が取り外される。次に、テープが、容器の主側面の真ん中の点を覆って固定される。第2の保護裏打ちストリップが、次に、接着テープから取り外され、容器がガラス板にしっかりと押圧され、一方、容器とガラス板の間の接着接合を形成するように、平衡を測って支持される。70 Nの力が、10秒間維持され、次に除去される。次に、ガラス板が、20 / 50 % RHで5分間鉛直方向に回転される。次に、流し台内に配置され、鉛直方向に5度の角度で支持され、水のジェット（流速 4.5 リットル / 分、温度 38 °C）が、可撓性のホースを使用して、板の上部に、容器の上面の約 5 c m 上方に方向付けられる。このことは、容器の周囲を接着ストリップを通して流れる水の連続するシートを結果として生じさせる。容器が、それ自体の重量の動作の下で分離するために必要な時間が記録される。

30

40

【 0 0 4 0 】

この実験では、容器が、15分以上の長さの間分離に対して耐えた場合、水および湿気に対して実質上耐性があるとみなされる。60分以上の長さの間分離に対して耐えた場合、水および湿気に対して耐性があるとみなされる。1000分以上の長さの間、または無限に（たとえば約10000分の間）分離に対して耐えた場合、水および湿気に対して高い耐性があるとみなされる。

【 0 0 4 1 】

本発明を、添付の図面を参照にしてさらに説明する。

【 発明を実施するための最良の形態 】

【 0 0 4 2 】

50

ここで図面をより詳細に参照すると、図 1 は、シャンプー、液体洗剤などの液体、固体などを保管および分与するために使用することができる容器 1 を示している。容器は、液化された推進ガスで加圧されており、金属、熱可塑性樹脂材料、またはその他のプラスチックまたはその他の適切な材料製であってもよい。容器 1 は、当技術分野で知られている方法によって、または当技術分野で知られている方法と類似の方法によって作製されることができる。

【 0 0 4 3 】

容器 1 は、凸型形状の端部表面 1 2 と、連続する側部表面 2 とを有する。容器 1 はまた、側部表面にストレッチリリース接着テープ 1 6 を付着されている。ストレッチリリース接着テープ 1 6 は、鉛直方向表面（図示せず）と接着する。セルフシーリング傾斜動作エアゾルバルブ 8 が、上下逆さまにされた位置にあり、それを通して容器 1 内で保管される製品が分与されることができる開口（図示せず）を有する。このプロセスは、鉛直方向表面から遠ざかる方向に、取り付けられた導管 1 8 にたとえば手によって力を印加することを含む。

【 0 0 4 4 】

図 2 は、様々な構成要素の位置を明確にするのを補助するために、代替となる斜視図で図 1 の容器を示している。

【 0 0 4 5 】

図 3 は、シャンプー、コンディショニング合成剤、液体洗剤などの液体などを保管し、分与するために使用されることができる容器 3 0 を示している。容器 3 0 は、可撓性の熱可塑性樹脂またはその他のプラスチック材料で作製されている。容器 3 0 は、当技術分野で知られている方法または当技術分野で知られている方法と類似の方法によって作製されてもよい。容器 3 0 は、端部表面 3 2 と側部表面 3 4 を有する。容器 3 0 はまた、側部表面に接着されたストレッチリリース接着テープ 3 6 に付着している。ストレッチリリース接着剤 3 6 の被覆は、鉛直方向表面（図示せず）に接着している。

【 0 0 4 6 】

容器のオリフィス（図示せず）が、それを通して容器 3 0 内で保管された製品が分与されることができる、分割されたエラストマーシール（合衆国ウィスコンシン州マクワナゴの Seaquist, Closures、による Simlisqueeze バルブ）（図示せず）で覆われている。このプロセスは、鉛直方向表面に向かう方向に、容器の可撓性の壁にたとえば手によって力を印加することを含む。

【 0 0 4 7 】

図 4 は、異なる構成要素の位置を明確にするのを補助するために、代替となる斜視図での図 3 の容器を示している。

【 0 0 4 8 】

図 5 は、バルブおよび、バルブ 5 6 の本体をオリフィス 5 4 上の容器 3 0 と接続するねじ山の付いたアタッチメント機構体 5 0 の拡大断面図を示している。伸縮性シール 5 2 の位置も示されている。

【 0 0 4 9 】

前述のことから、本発明の特定の実施形態は、例示の目的で本明細書に記載されており、様々な修正が、本発明の範囲から逸脱することなく行われることを理解されよう。

【図面の簡単な説明】

【 0 0 5 0 】

【図 1】逆さまの位置での、および鉛直方向表面に取り付けられた、本発明の容器の実施形態を示す斜視図である。

【図 2】逆さまの位置での、および鉛直方向表面に取り付けられた、本発明の容器の実施形態を示す斜視図である。

【図 3】逆さまの位置での、本発明の容器の異なる実施形態を示す斜視図である。

【図 4】逆さまの位置での、本発明の容器の異なる実施形態を示す斜視図である。

【図 5】この例のバルブ構造を示す拡大断面図である。

10

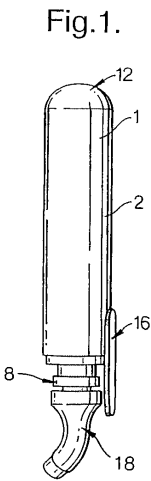
20

30

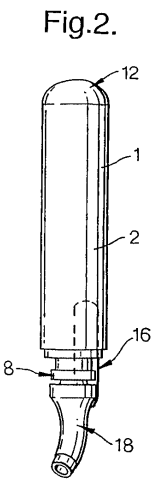
40

50

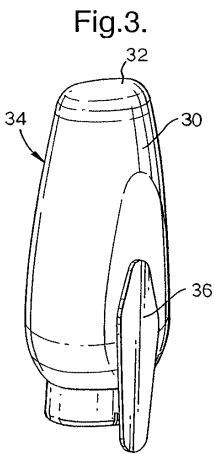
【 図 1 】



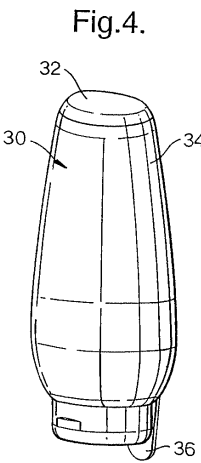
【 図 2 】



【 図 3 】

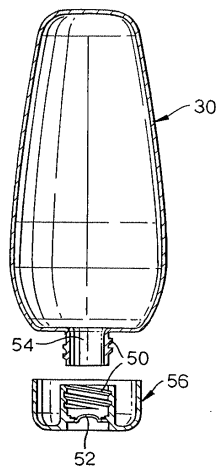


【 図 4 】



【図 5】

Fig.5.



フロントページの続き

(51)Int.Cl. F I
B 6 5 D 83/00 (2006.01) B 6 5 D 83/00 G

(72)発明者 ニュウハルフエン, マーク
アメリカ合衆国、イリノイ・60008-4009、シカゴ、ローリング・メドウズ、イースト・
ゴルフ・ロード・3100、ユニリーバー・ホーム・アンド・パーソナル・ケア・ユー・エス・エ
イ

(72)発明者 ラザフォード, キース・レスリー
アメリカ合衆国、イリノイ・60008-4009、シカゴ、ローリング・メドウズ、イースト・
ゴルフ・ロード・3100、ユニリーバー・ホーム・アンド・パーソナル・ケア・ユー・エス・エ
イ

(72)発明者 トンプソン, ガイ・リチャード
イギリス国、ヨークシャー・エル・エス・14・2・エイ・アール、シークロフト、コール・ロー
ド、リーバー・ファバージ・リミテッド

審査官 鈴木 秀幹

(56)参考文献 国際公開第02/04571(WO, A1)
米国特許第4470523(US, A)
登録実用新案第3066969(JP, U)
特開2000-203669(JP, A)

(58)調査した分野(Int.Cl., DB名)

A47K 5/12
A47K 5/122
B65D 25/20
B65D 35/08
B65D 83/00
B65D 83/14